

平成 30 年 4 - 6 月における青森県内の消費生活相談状況

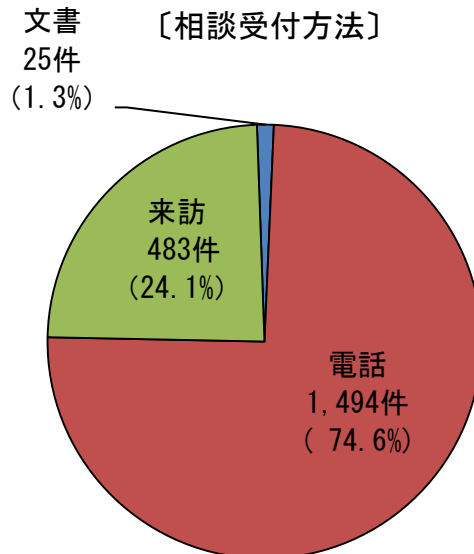
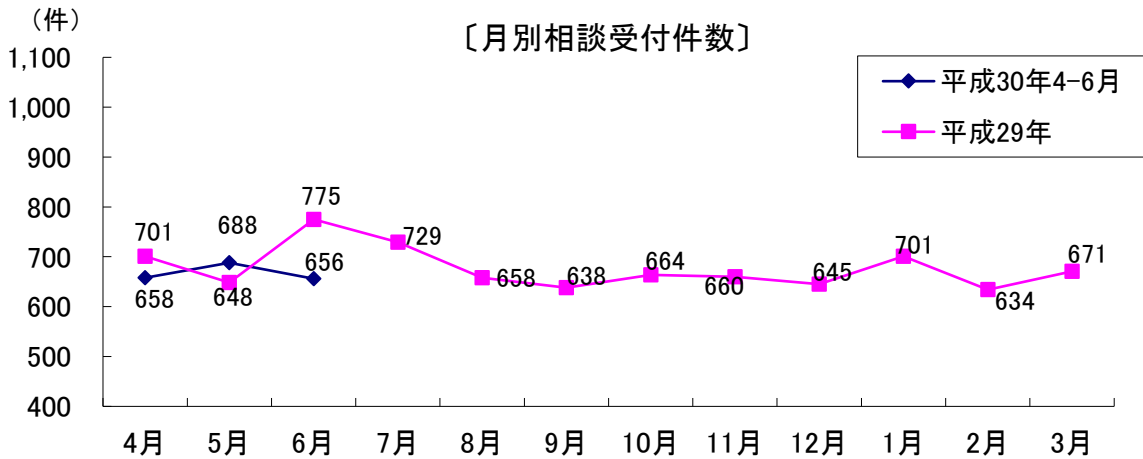
1 相談受付状況

(1) 概況

平成 30 年 4 - 6 月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、2,002 件（苦情相談 1,647 件、問合せ 355 件）であり、前年度と比較して 122 件（5.7%）減少しています。

（単位：件）

項目	年度	平成 30 年度 4 - 6 月 (a)	平成 29 年度 4 - 6 月 (b)	増 減 (a-b)	前年度比 (a/b)
苦 情		1,647	1,736	▲89	94.9%
問 合 せ		355	388	▲33	91.5%
計		2,002	2,124	▲122	94.3%

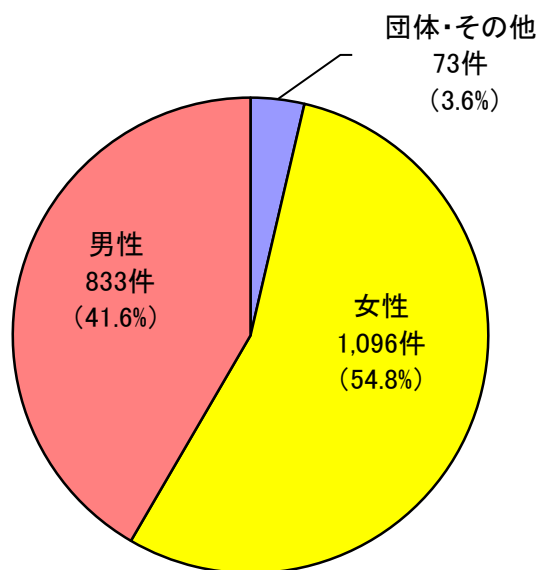


(2) 契約当事者の状況

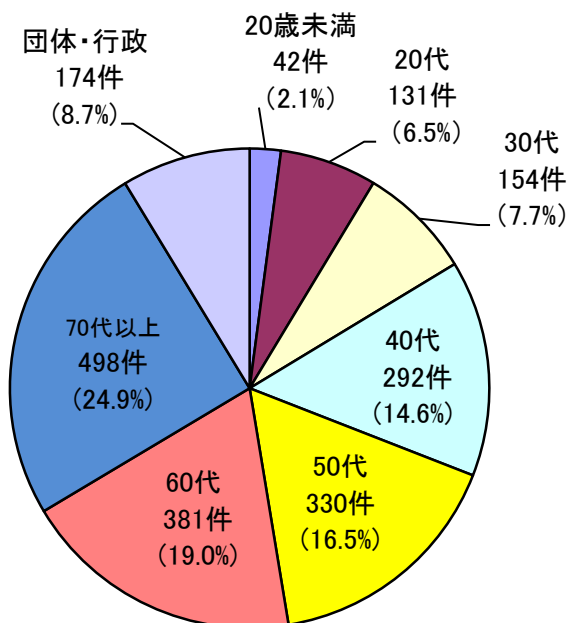
契約当事者を性別で見ると、女性が1,096件で、全体の54.8%を占めています。年代別では、70代以上が498件(24.9%)と最も多く、次いで60代が381件(19.0%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、給与生活者が716件(35.8%)と最も多く、次いで無職が652件(32.6%)となっています。

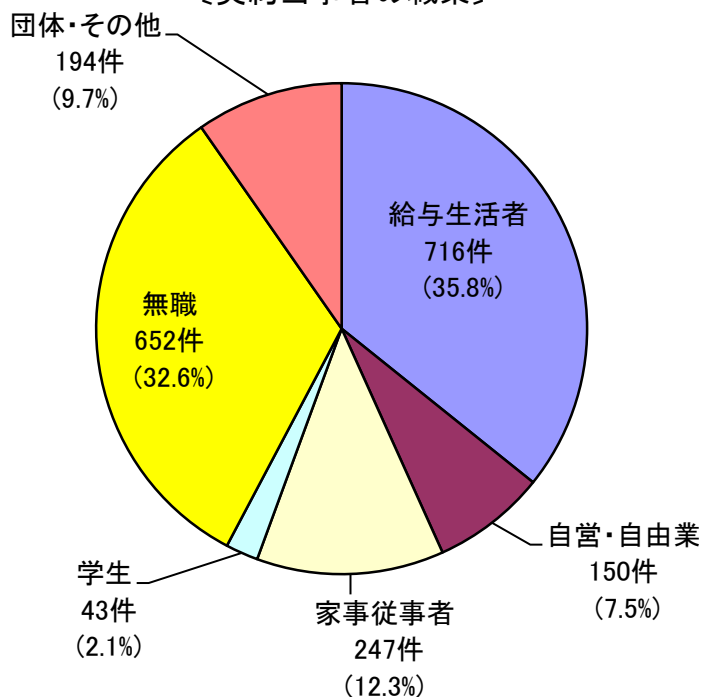
〔契約当事者の性別〕



〔契約当事者の年代〕



〔契約当事者の職業〕



(3) 主な商品・役務別の相談受付状況

(単位：件)

	商品・役務名	平成30年度 4－6月 (a)	平成29年度 4－6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
1	運輸・通信サービス	484	599	▲115	80.8%
2	商品一般	298	200	98	149.0%
3	金融・保険サービス	222	219	3	101.4%
4	保健・福祉サービス	121	111	10	109.0%
5	食料品	119	140	▲21	85.0%
	その他	758	855	▲97	88.7%
	計	2,002	2,124	▲122	94.3%

1 「運輸・通信サービス」

平成30年4－6月の相談件数は484件で、前年同期より115件減少しています。主なものとしては、携帯電話やスマートフォンのSMS（ショートメッセージサービス）を悪用した架空請求に関する相談や、光回線サービス乗り換えの契約トラブルに関する相談が多くありました。

2 「商品一般」

平成30年4－6月の相談件数は298件で、前年同期より98件増加しています。商品一般には、商品を特定できない相談や商品が多岐にわたる相談が分類されますが、「消費料金の請求」等の商品を特定しないハガキによる架空請求の相談が多かったことから、相談件数が増加しています。

3 「金融・保険サービス」

平成30年4－6月の相談件数は222件で、前年同期より3件増加しています。主なものとしては、借金の返済が困難になったという多重債務に関する相談や、生命保険に関する相談が多くありました。

4 「保健・福祉サービス」

平成30年4－6月の相談件数は121件で、前年同期より10件増加しています。主なものとしては、払い過ぎた医療費の還付があるという「還付金詐欺」に関する相談や、医師による医療サービスに関する相談が多くありました。

5 「食料品」

平成30年4－6月の相談件数は119件で、前年同期より21件減少しています。主なものとしては、健康食品の定期購入に関するトラブルの相談や、魚介類の電話勧誘に関する相談が多くありました。

(4) 相談に係る契約等の既払金額

平成30年4-6月の相談受付件数に係る既払金額等の状況をみると、お金を支払った人の数、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額は減少しましたが、最大既払額は増加しています。

	平成30年度 4-6月 (a)	平成29年度 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
お金を支払った人の数	309人	333人	▲24人	92.8%
既払金額合計	178,697千円	199,596千円	▲20,899千円	89.5%
平均既払金額(一人当たり)	578千円	599千円	▲21千円	96.5%
最大既払額	31,000千円	27,000千円	4,000千円	114.8%

2 特殊詐欺の状況

(1) 概況

平成30年4-6月の相談件数は491件で、前年同期より31件増加しています。類型別にみると、振り込め詐欺の410件(相談件数の83.5%)が最も多く、次いでワンクリック詐欺の48件(同9.8%)となっています。振り込め詐欺のうち、架空請求詐欺が333件で前年同期より40件(13.7%)増加しています。

還付金詐欺に関する相談は77件で前年同期より23件(42.6%)増加しているものの、過去10年間で最も還付金詐欺の相談が多かった平成28年度(96件)をピークに減少しています。

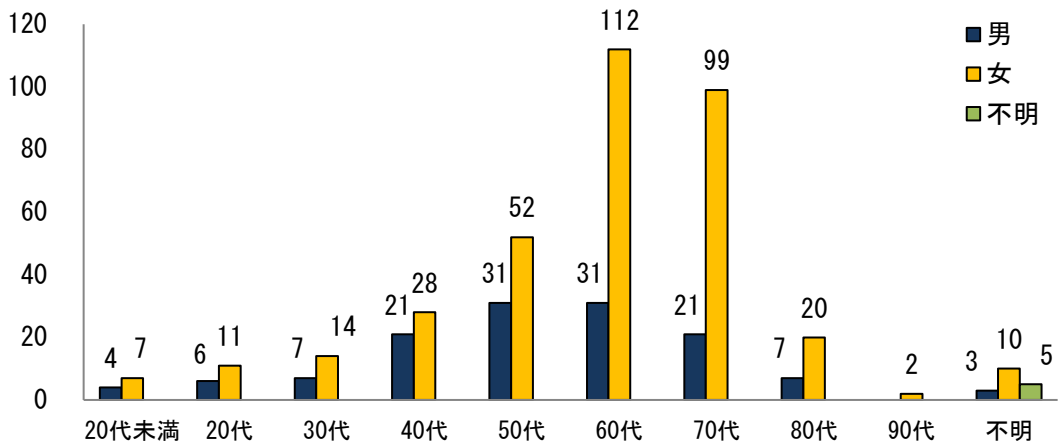
(単位：件)

年 度	平成30年度 4-6月 (a)	平成29年度 4-6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
類 型				
振り込め詐欺	410	356	54	115.2%
架空請求詐欺	333	293	40	113.7%
還付金詐欺	77	54	23	142.6%
融資保証金詐欺	0	6	▲6	-
オレオレ詐欺	0	3	▲3	-
ワンクリック詐欺	48	74	▲26	64.9%
異性との交際あっせん名目詐欺	17	9	8	188.9%
金融商品取引名目詐欺	15	15	-	100.0%
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	1	2	▲1	50.0%
その他の名目詐欺(宝くじ)	0	4	▲4	-
合 計	491	460	31	106.7%

(2) 特殊詐欺に係る当事者の状況

平成30年4-6月における特殊詐欺に係る当事者を年代・性別でみると、60代女性の112件が最も多く、次いで70代女性の99件、50代女性の52件となっています。

(件) **〔契約当事者の年代および性別〕**



(3) 特殊詐欺に係る既払金額

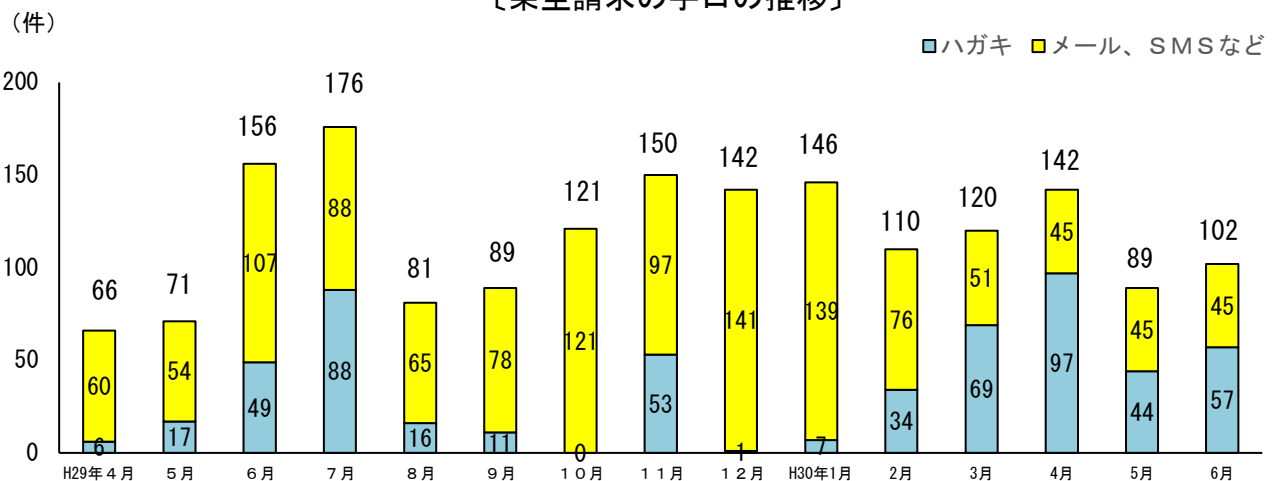
平成30年4～6月の特殊詐欺に係る既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数、既払金額の合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額のすべてが大きく減少しています。

	平成30年度 4～6月 (a)	平成29年度 4～6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
お金を支払った人の数	22人	32人	▲10人	68.8%
既払金額合計	15,173千円	37,621千円	▲22,448千円	40.3%
平均既払金額(一人当たり)	690千円	1,176千円	▲486千円	58.7%
最大既払額	4,676千円	20,000千円	▲15,324千円	23.4%

(4) 架空請求の相談状況の推移

架空請求の手口は、ハガキによるものとメールやSMSなどによるものに大別されます。平成29年4月から平成30年6月までの月別にそれぞれの割合をみると、平成29年度は、7月を除けばメール等による架空請求の割合が高くなっていますが、平成30年3月以降はハガキの割合が高くなっていることがわかります。

〔架空請求の手口の推移〕



3 65歳以上の高齢者の状況

(1) 全般

ア 高齢者の概況

高齢者の相談は720件で、前年同期と比較して70件（10.8%）増加し、相談全体に占める割合も36.0%と3割を超えています。

（単位：件）

項目	年度	平成30年度 4－6月 (a)	平成29年度 4－6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
苦情		582	504	78	115.5%
問合せ		138	146	▲8	94.5%
計		720	650	70	110.8%

イ 高齢者の主な商品・役務別の相談受付状況

高齢者の相談では、商品一般に関する相談が172件と最も多く、前年同期より92件増加しています。「消費料金の請求」等の商品を特定しないハガキによる架空請求に関する相談が多かったことが件数増加の要因となっています。

次いで多いのは、運輸・通信サービスの109件で、前年同期より14件減少しています。SMSを使った架空請求の相談が減少したことが件数減少の要因となっています。

（単位：件）

	商品・役務名	平成30年度 4－6月 (a)	平成29年度 4－6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
1	商品一般	172	80	92	215.0%
2	運輸・通信サービス	109	123	▲14	88.6%
3	保健・福祉サービス	77	76	1	101.3%
4	金融・保険サービス	69	65	4	106.2%
5	食料品	53	67	▲14	79.1%
	その他	240	239	1	100.4%
	計	720	650	70	110.8%

ウ 高齢者からの相談に係る契約等の既払金額

高齢者の相談に係る既払金額等の状況を見ると、お金を支払った人の数、既払金額合計、平均既払金額、最大既払額のすべてにおいて減少しています。

	平成30年度 4－6月 (a)	平成29年度 4－6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
お金を支払った人の数	84人	86人	▲2人	97.7%
既払金額合計	46,216千円	101,827千円	▲55,611千円	45.4%
平均既払金額（一人当たり）	550千円	1,184千円	▲634千円	46.5%
最大既払額	12,000千円	20,385千円	▲8,385千円	58.9%

(2) 高齢者の特殊詐欺の状況

ア 概況

高齢者の特殊詐欺に関する相談件数は236件で、前年同期より92件増加しています。類型別にみると、振り込み詐欺が228件（相談件数の96.6%）と最も多く、次いで金融商品取引名目詐欺とワンクリック詐欺がそれぞれ4件（同1.7%）となっており、高齢者においては、架空請求詐欺と還付金詐欺が大きな割合を占めていることがわかります。

（単位：件）

年 度	平成 30 年度 4－6 月 (a)	平成 29 年度 4－6 月 (b)	増 減 (a-b)	前年比 (a/b)
類 型				
振り込み詐欺	228	120	108	190.0%
架空請求詐欺	167	67	100	249.3%
還付金詐欺	61	50	11	122.0%
融資保証金詐欺	0	0	0	-
オレオレ詐欺	0	3	▲3	-
金融商品取引名目詐欺	4	11	▲7	36.4%
ワンクリック詐欺	4	11	▲7	36.4%
その他の名目詐欺（宝くじ）	0	2	▲2	-
異性との交際あっせん名目詐欺	0	0	-	-
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺	0	0	-	-
合 計	236	144	92	163.9%



イ 高齢者の特殊詐欺に係る既払金額

高齢者の特殊詐欺の相談件数に係る既払金額等の状況をみると、お金を支払った人の数、既払金額合計、一人当たりの平均既払金額、最大既払額のすべてが減少しています。

	平成 30 年度 4－6 月 (a)	平成 29 年度 4－6 月 (b)	増 減 (a-b)	前年比 (a/b)
お金を支払った人の数	2 人	3 人	▲1 人	66.7%
既払金額合計	1,770 千円	32,495 千円	▲30,725 千円	5.4%
平均既払金額（一人当たり）	885 千円	10,832 千円	▲9,947 千円	8.2%
最大既払額	900 千円	20,000 千円	▲19,100 千円	4.5%

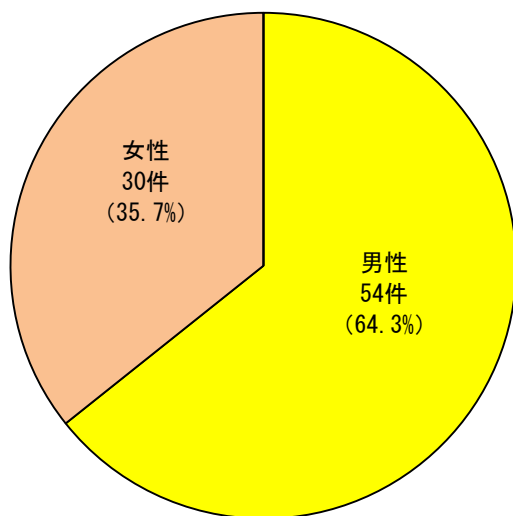
4 多重債務に関する相談の受付状況

平成30年4～6月における多重債務に関する相談件数は84件で前年同期より2件増加しました。

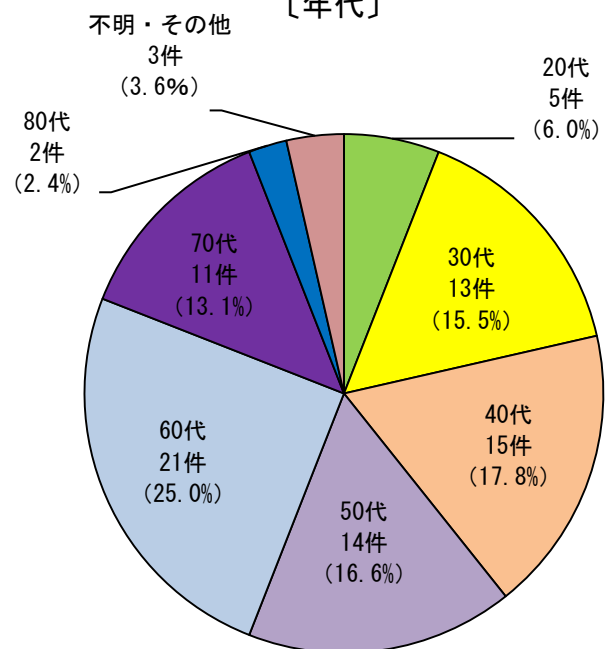
(単位: 件)

	平成30年度 4～6月 (a)	平成29年度 4～6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
相談受付件数	84	82	2	102.4%

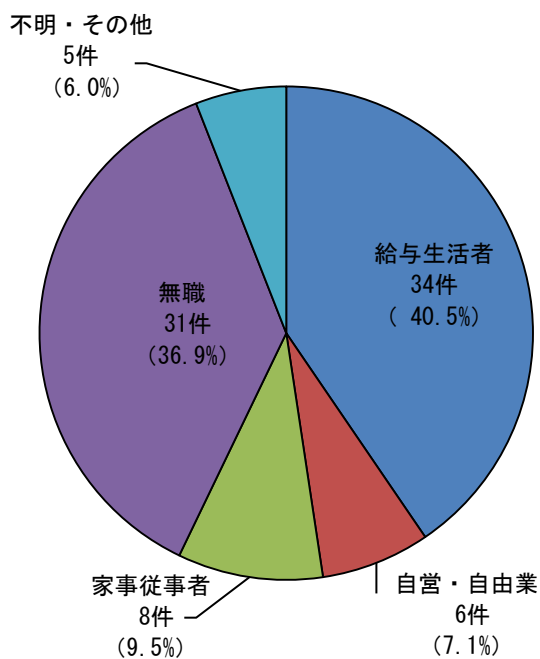
〔性別〕



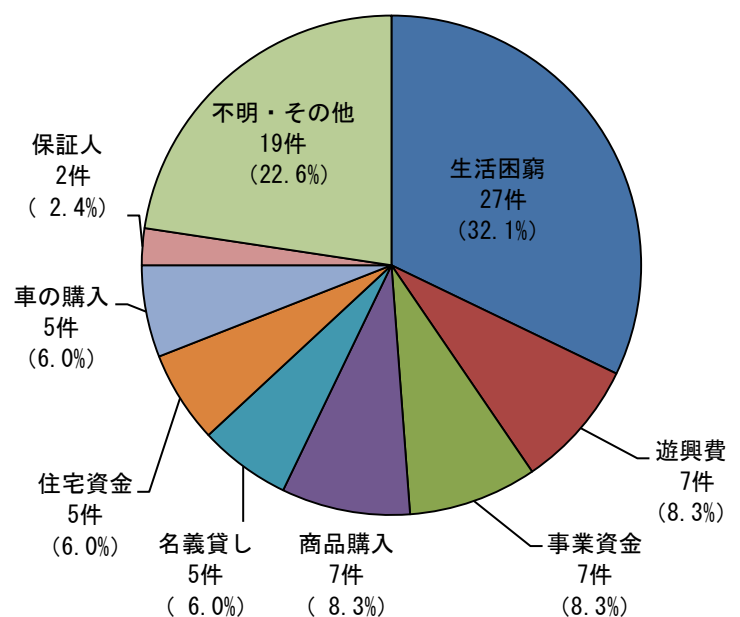
〔年代〕



〔職業〕



〔借金のきっかけ〕



5 ヤミ金などの相談の受付状況

平成30年4～6月におけるヤミ金などに関する相談件数は7件で、前年同期より13件(65.0%)減少しています。

(単位：件)

	平成30年度 4～6月 (a)	平成29年度 4～6月 (b)	増減 (a-b)	前年度比 (a/b)
ヤミ金	6	13	▲7	46.2%
融資保証金詐欺	0	6	▲6	-
借金整理屋	1	1	-	100.0%
ショッピング枠現金化	0	0	-	-
計	7	20	▲13	35.0%

